



様々な企業の分析 (パート1)

消費セクターにスポットライトをあてる

RBCグローバル株式運用チーム



シニア・ポートフォリオ・マネジャーのニール・アボットは、日々、消費セクターの企業を調査しています。伝統的な自動車メーカーからホテルグループ、電子商取引の企業まで、非常に広範囲にわたって多様な企業が存在するセクターです。私たちの意思決定プロセスを説明し、顧客の資産がどのように管理されているのかを明らかにするためには、適したセクターと考えています。

消費セクターの一つ目のレポートとして、クライアント・ポートフォリオ・マネジャーのキアン・ニーマルクとニール・アボットが、成長産業の企業発掘について語ります。

消費セクターの魅力とは何でしょうか？

当セクターは広範囲にわたり、常に幅広いビジネスで定義されていることが魅力です。ビールや食品で有名な250年以上の歴史を持つ企業から、アマゾンのようにまだ25年の節目を迎えていない企業まで、様々な企業があります。自動車メーカーのトヨタやBMWのようなシクリカル企業、食品小売のような非シクリカル企業、グローバル大企業、国内の中小企業など様々です。自社でサプライチェーンを有する企業もあれば、サプライヤーへの依存度が高い企業もあります。経済が拡大する時期に選好する企業もあれば、景気後退が懸念される時期に選好する企業もあります。つまり、投資に関する多くの課題がこのセクターに集約されていると言えます。

非常に多様な企業が存在するセクターであることは明らかです。それでは、当セクターと、それに属する企業を評価するには、何から始めればよいのでしょうか？

まず、魅力的な利益源を持つ業界に注目することから始め、次のような質問を投げかけます。その業界は成長しているのか、それとも縮小しているのか。業界の利ざやの見通しはどのようなものか。投資機会は全体的として拡大しているか。

こうした条件に合致すれば、次にリサーチを進めます。消費セクターには、シクリカル企業と非シクリカル企業があるため、**景気サイクルが、その業界や企業にとって好ましい位置にいるかどうか**を評価します。

そして、個別企業に目を向け、強固で持続可能な競争優位性を示す企業を見つけます。これは、私たちの投資哲学の重要な部分であり、投資活動の中核をなすものです。重要な点は、私たちは、投資先企業の経営陣と密接に連携してエンゲージメントを行っているということです。それは、株主にリターンを提供するのは企業の経営陣だからです。

ESGも、企業の持続可能性や企業が生み出す利益にとって非常に重要な要素だと考えています。信頼に値し、**ESGに対する理解やコミットが十分に行われ、成功する企業文化を築こうとしている**経営陣との協働を私たちは目指しています。

企業文化を理解するには時間がかかります。それは、無形の資産であるため、企業の財務会計に反映されることはありません。しかし、強固な企業文化など、非財務的な競争力を有する企業は、長期的に株主により良いリターンをもたらすと確信しています。

この変化の大きいセクターでは、「実際の生活」における事例があると分かり易いかもしれません。「魅力的な利益源」を有する業界にはどのようなものがありますか？

構造変化の恩恵を受け、長期的、本質的な魅力を持つ業界は数多くあります。

電気自動車（EV）業界は、今後数十年にわたり、消費セクターの中で重要な位置を占めることになるでしょう。内燃機関からEVへの転換は、自動車産業にとって重要な課題となっています。フォード、トヨタ、ゼネラルモーターズといった伝統的な自動車メーカーは、この転換に対応しようとしています。また、テスラのように新規に参入した企業もあります。EVは非常に変化が激しい業界です。多額の投資や、数多くの技術が必要とされ、将来的なリターンをもたらすような変化がある業界と言えるでしょう。

旅行・レジャー業界もその一つです。この業界は、通常であれば、GDPの約2倍の速さで成長します。若干の周期性はありますが、中産階級の増加を反映することになります。また、テクノロジーの発展により、労働時間が短縮され、収入は変わらず余暇の時間が増えたことも、それに影響を与えています。特に、中国やインドの中産階級が増加しており、この層は旅行を好む傾向が強いため、重要な役割を果たしています。

健康&ウェルネス分野は、食品、飲料、ファッションに影響を与えるトレンドがあり、また、この分野に関連した業界そのものも拡大を遂げています。新型コロナウイルスの流行が、このトレンドに拍車をかけました。消費者は健康のためにお金を使う傾向が強まったことから、私たちはその恩恵を受ける投資機会を見つけようとしています。

それ以外にも、シクリカル性の無いラグジュアリーブランド、構造的・技術的变化をもたらす電子商取引、音楽や映像などのメディアの新しい消費形態であるストリーミングサービスなどがあります。新しい企業、新しい業界、魅力的なビジネスモデルによってこうした分野が拡大しつつあります。

時間が経つとともに、これらの業界は消費のさらに大きな割合を占めるようになるでしょう。

現在、利益源が拡大しているにもかかわらず、投資していない業界はありますか？

EV業界については、まだどの企業にも投資していません。投資していない理由の一つはESGです。例えば、私たちは過去10年間に何度かテスラに注目しましたが、その経営スタイル、非常に高い離職率、役員構成について疑問視してきました。テスラの成長ストーリーは基本的に成功していますが、まだ納得のいかない課題も残っています。それでも、EV業界にエクスポージャーを得る方法はあります。例えば、EV業界にサプライチェーンを持つ企業や、EV市場に参入している伝統的な自動車メーカーに投資することです。

私たちは、このような企業の分析を行い、業界の潜在的な利益源と、景気サイクルの位置を意識しつつ、継続的に調査活動を再評価しています。

次の第二弾レポートでは、企業の競争力を高めるものは何か、そして最近生じた課題について述べる予定です。

ディスクレマー

当資料は、RBC Global Asset Managementの一部であるRBC Global Asset Management (UK) Limitedによって提供された情報を元に、RBC Global Asset Managementの関連会社であるブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッドが編集したものです。当資料は受領者への情報提供のみを目的としています。当資料の全部または一部を複製することはできません。また、RBC Global Asset Managementの同意なしに他人に配布することもできません。当資料は、証券またはその他の金融商品の売買または投資戦略への参加の申し出を勧誘するものではなく、税務または法律上の助言として解釈されるべきではありません。ここに記載されているすべての製品、サービス、または投資がすべての法域で利用できるわけではなく、地域の規制および法的要件により、一部は限定的にのみ利用できます。

過去の実績は将来の結果を示すものではありません。このレポートに含まれる情報は、RBC Global Asset Managementおよび/またはその関連会社によって、信頼できると思われる情報源から編集されていますが、その正確性、完全性、または正確性について、明示または黙示を問わず、表明または保証は行われません。すべての投資で、投資額の全部または一部が失われるリスクがあります。

この資料には、RBC Global Asset Managementの現在の意見が含まれており、特定のセキュリティ、戦略、または投資商品の推奨を意図したものではなく、またそのように解釈されるべきではありません。特に明記されていない限り、ここに記載されているすべての情報と意見は、このドキュメントの日付時点のもので、ここに記載されているすべての情報および意見は、予告なしに変更される場合があります。

RBC Global Asset Management (RBC GAM) は、カナダロイヤル銀行 (RBC) のアセットマネジメント部門であり、RBCグローバルアセットマネジメント (US) Inc. (RBC GAM-US)、RBC Global Asset Management Inc.、RBC Global Asset Managementが含まれます。(UK) Limited、BlueBay Asset Management LLP、BlueBay Asset Management USA LLC、およびRBC Global Asset Management (Asia) Limitedは、別個ですが、関連する企業体です。

RBC Global Asset Management (UK) Limitedは、金融行動監視機構によって認可および規制されています。

®/™ Trademark(s) of Royal Bank of Canada.



RBC BlueBay
Asset Management